

一般財団法人 日本心理研修センター 創立3周年記念行事

市民は公認心理師を必要としている

いずみ ふさほ
泉 房穂

明石市長・弁護士・社会福祉士

自己紹介

泉 房穂(いずみ ふさほ)

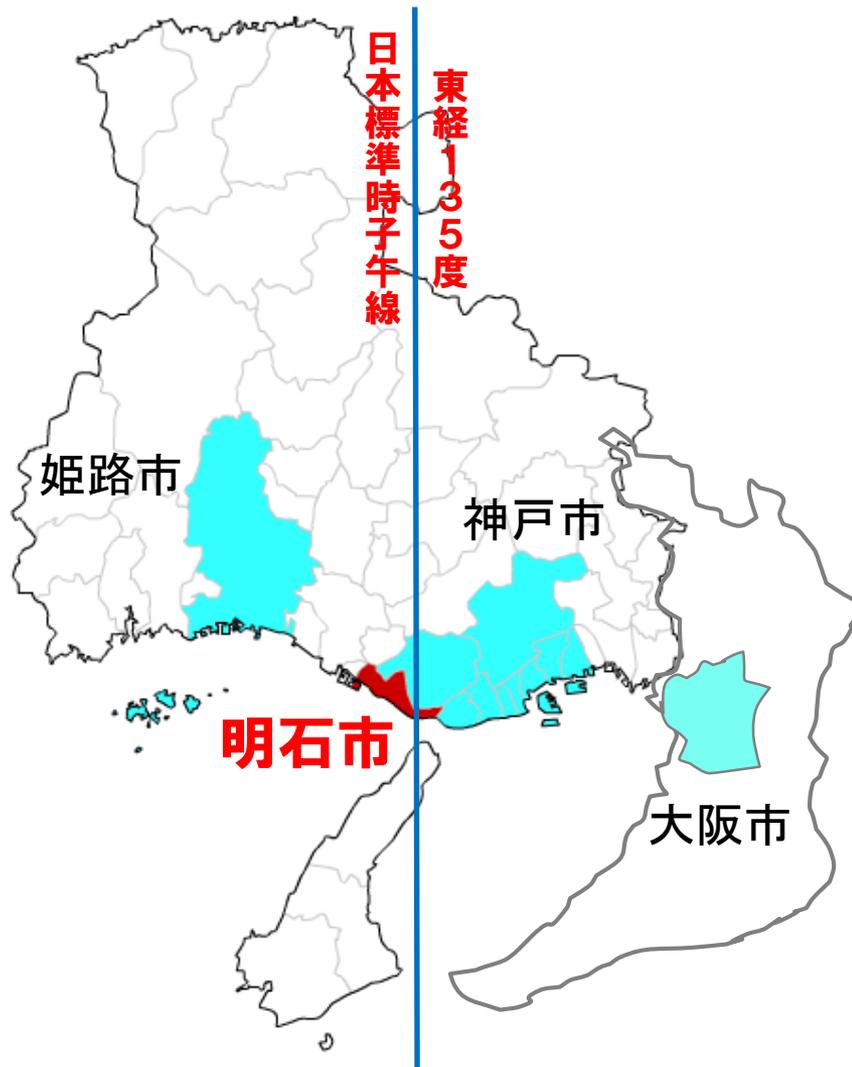


- 1963年 明石生まれ
- 2011年より明石市長
- 弁護士
- 社会福祉士
- (一財)日本心理研修センター 評議員
- 元衆議院議員
- 元NHKディレクター
- 手話検定2級、柔道3段、明石タコ検定初代達人

話したいポイント

- ◆市民は心理専門職を
必要としている
- ◆専門性の向上
- ◆関連専門職との連携

明石市の概要①



人口 約 29万人

面積 約 49 km²

明石市の概要②

子午線上に建つ
明石市立天文科学館

歴史のまち

明石城はさくらの名所

時のまち

世界最長
明石海峡大橋

明石たこ大使 さかなっこ

愛されるブランド
明石鯛

海のみち

© 2015 ANAN 明石 商標 AND Tm.

明石市の特色

◆専門職の積極活用

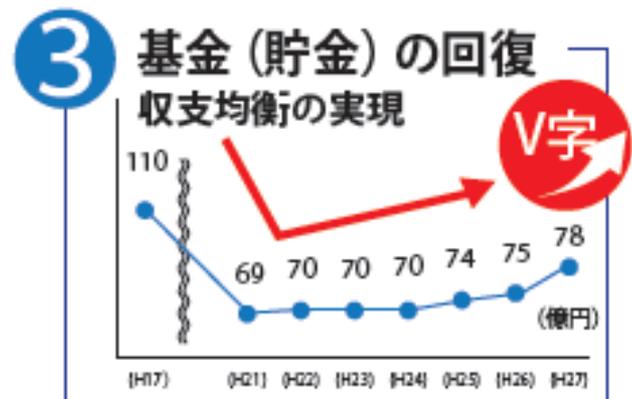
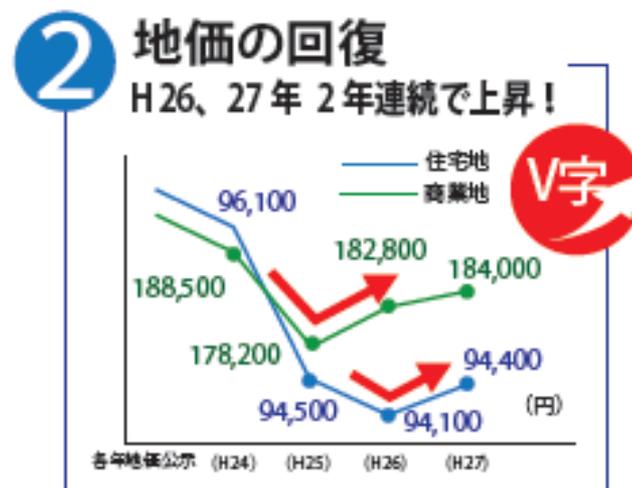
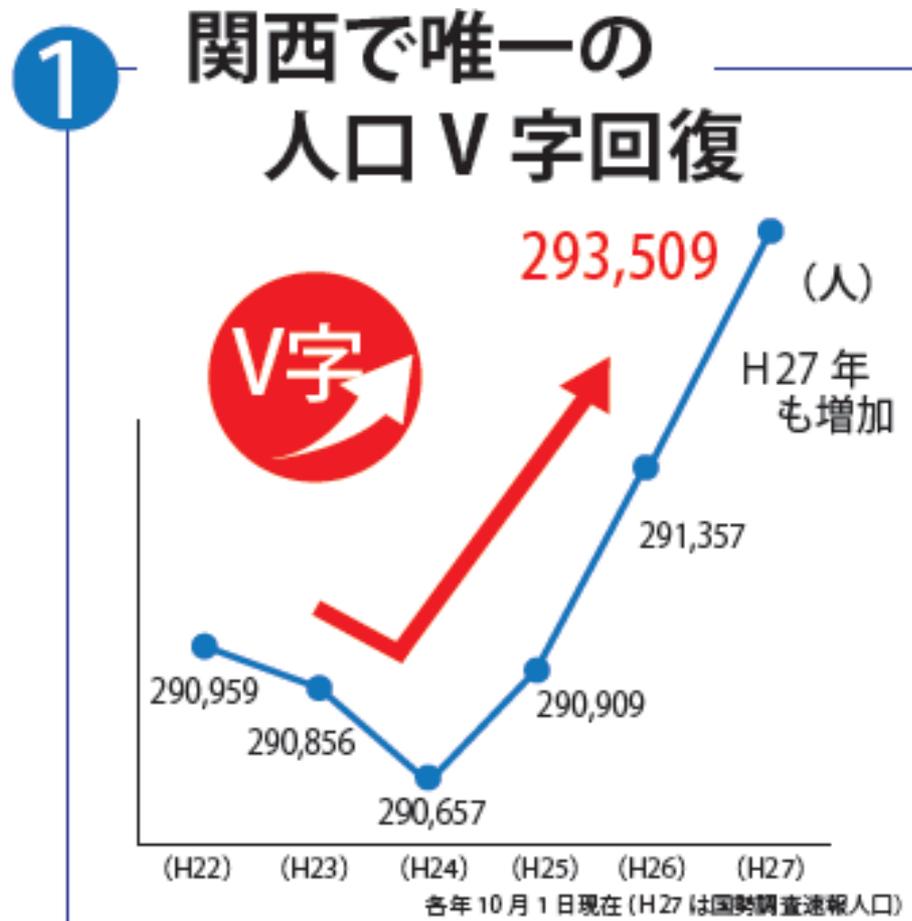
20名以上の専門職が活躍中！

(平成28年4月現在)

◆臨床心理士	3名	
◆弁護士	7名	
◆社会福祉士	7名	
◆司法書士	1名	
◆手話通訳士	2名	など

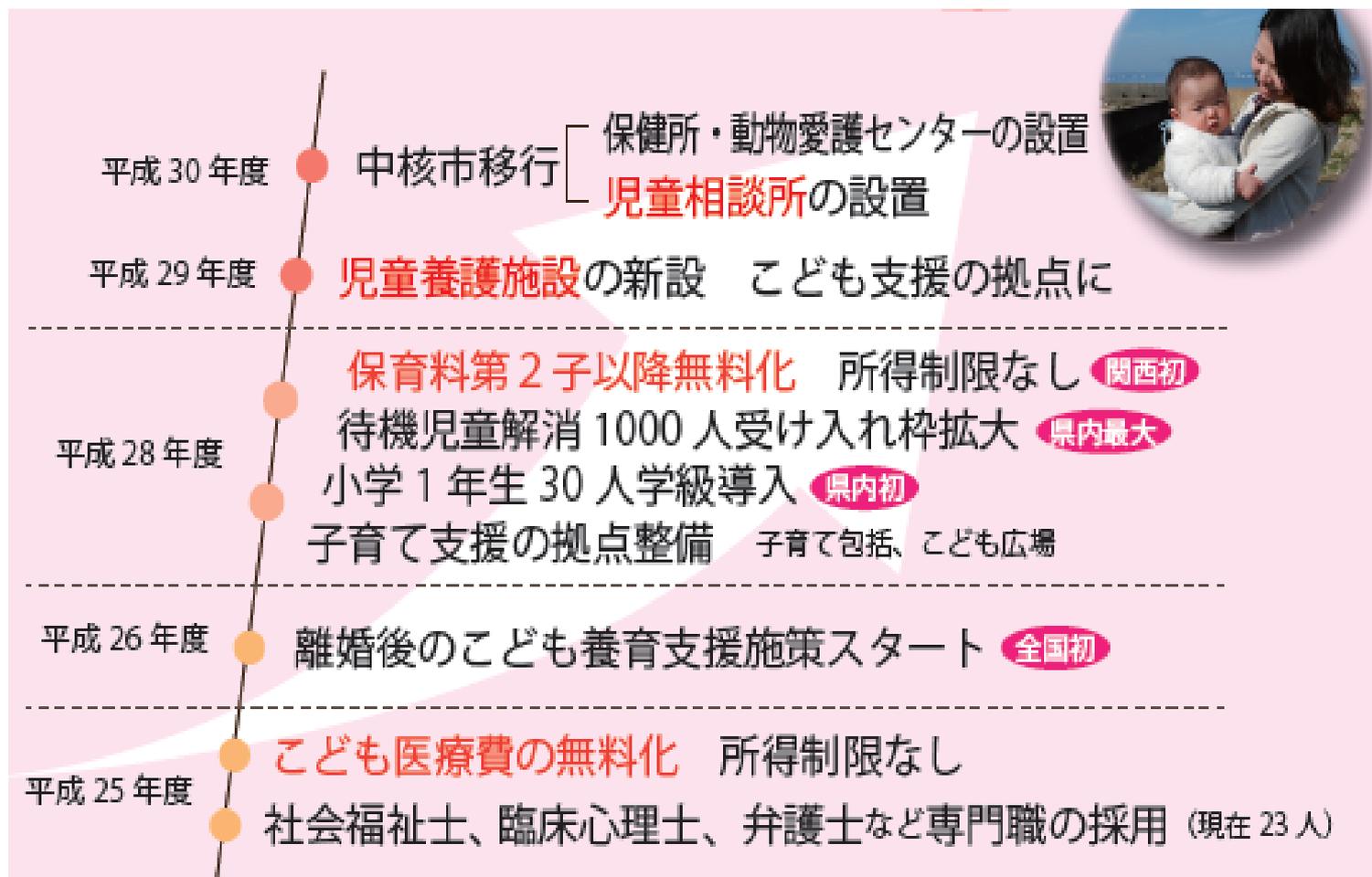
明石市の特色

◆関西唯一の人口V字回復



明石市の特色

◆ 児童相談所、保健所の設置



行政に位置づく心理職～明石市の事例～

日本臨床心理士会の全面協力により、全国公募！

応募総数49名

- ・ 男性13名、女性36名
- ・ 31歳～60歳
- ・ 北海道から宮崎県まで全国各地より

専門性のある職員を配置し、

さらなる市民サービスの向上へ

複雑かつ高度化する行政課題に対応していくためには、必要な分野に専門的な知識を持った職員を配置することが重要です。

市は、今年4月から任期付職員として弁護士資格を持つ職員を採用し、市民法律相談の充実や、市のコンプライアンス向上に向けて取り組んでいます。

さらに今後、来年4月に採用する、社会福祉士と臨床心理士を募集しています。近年、厳しくなる社会情勢の中、高齢者や障害者などの社会的弱者への対応が複雑で困難なケースが増えており、基礎自治体として、このような方々の生活をしっかりと守っていくために、専門分野で活躍する人材が必要と考えています。

社会福祉士は高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉などの様々な福祉施策に取り組み、より高度で専門的な支援を実施していきます。また、臨床心理士は発達障害支援などの心理業務に加え、「いじめ」対策として、スクールカウンセラーとしても活用していく予定です。

社会福祉士、臨床心理士を募集（来年4月採用）

社会福祉士

福祉サービスのさらなる向上を目指し、社会福祉士を3人程度募集します



社団法人日本社会福祉士会
会長 山田 隆志さん

社会福祉士は、地域住民のさまざまな福祉に関する相談に応じる国家資格です。全国初となる、この先進的な取り組みが、明石市民の方々の幸福度をあげ、明石市をより生活しやすい街に導くことでしよう。

*職員採用について、詳しくは市ホームページへ お問い合わせ／人財課 ☎918-5006

臨床心理士

心のケア、発達支援の充実化を図るため、臨床心理士を2人程度募集します。



社団法人日本臨床心理士会
会長 村瀬 真代子さん

複雑化する社会の中で、いわゆる心のケアが重要とされてきております。そのような時、都道府県レベルでは既に採用されている臨床心理士を、市においても採用され、市民の皆さまへのサービスに生かそうとされる明石市の取り組みに尊敬申し上げます。
臨床心理士が明石市民の皆さまの生活向上に役立ちますよう、私どもも応援させていただきます。

臨床心理士の皆さん！

明石市で働きませんか

明石市任期付職員を募集

明石市では、心理カウンセリングやメンタルケアの分野における市民サービスをより一層向上させるため、臨床心理士を任期付職員として募集いたします。

募集人数 2名程度
職務内容 心理支援 関連業務
身分 正規職員 (フルタイム勤務)
任期 5年以内
募集期間 10月1日～31日
※詳細は裏面をご覧ください

発達障害への支援を進める明石市にあなたの力を



明石市立発達支援センター

明石市では「市民幸福度日本一」のまちをめざし「こども」「安全」「地域」をキーワードに重点的かつ積極的な取り組みを進めています。
とりわけ、発達障害支援の分野には力を注いでおり、これまでに市立発達支援センターを開設するとともに、本年4月には市役所内に発達支援課を設けいたしました。また、本市がこうした先進的な取り組みを進める中、本年7月には、市内に兵庫県立こども発達支援センターが開設されました。

私は、市長であるとともに、弁護士であり、社会福祉士でもあります。近年、子ども達の発達過程において、ご本人はもとより、保護者の方々の悩みはますます複雑に、深刻になっていることを実感しています。
これらの問題にさらに深く取り組むため、このたび臨床心理士を常勤の正規職員として採用し、専門的な知識・経験・能力を存分に発揮していただき、一人でも多くの市民の皆さまのお役に立ちてもらうと考えています。

本市ではこれまで、5名の弁護士を採用しており、このたびは、臨床心理士と合わせ、社会福祉士の採用も予定するなど、高度で専門的な能力を行政分野で発揮できる人材を積極的に活用しております。
「市民幸福度日本一」に向け、明石市職員として一緒に汗を流していただけたら人材も心もお待ちしております。

市長 泉 啓徳



明石市総務部職員室人事課 兵庫県明石市鳴門1-5-1 TEL 078-918-5006

行政に位置づく心理職～明石市の実例～

平成25年4月、

常勤の任期付専門職として、3名採用！

<ポイント>

◆常勤の正規職員

◆任期5年（再任用可能）

◆係長級（年収約690万円）

明石市における活躍の例①

～学校現場（スクールカウンセラー）～

◆チームアプローチ

- ・スクールカウンセラー（SC）
- ・スクールソーシャルワーカー（SSW）
- ・スクールロイヤー（SL）

◆教員、庁内外との連携

- ・常勤の正規職員の強み
- ・5年任期の強み



（児童生徒支援課
係長）

SSW・SLとともに、心理的支援のみでなく、環境調整を含めた総合的な家庭支援を行っています。

教員や市職員、関係団体との信頼関係づくりなど、長期的なスパンで取り組めることが魅力ですね。

明石市における活躍の例②

～発達障害者支援～

◆幅広い支援

- ・市立の発達支援センター
- ・発達障害にとどまらず、子どもの発達から大人の精神疾患まで、幅広く家族支援を行う。



(発達支援課 係長)

◆心理職同士の連携

- ・それぞれの専門領域をカバー
- ・情報交換により、専門性の向上

一般行政職から、市役所の業務内容や、専門分野以外の知識を学ばせてもらってます。

福祉分野などと連携した対応が可能となり、幅広い市民ニーズに対応することができています。

明石市における活躍の例③

～市民相談業務～

◆ワンストップ

- ・市に対する様々な相談を市民相談室で一次対応。

◆心のケア相談

- ・市民や市職員を対象

◆全国初の取り組み

- ・離婚時のこども支援
- ・犯罪被害者支援
- ・無戸籍者支援 など



(児童福祉課 係長
兼 市民相談室 係長)

専門性向上のため、外部の研修など、積極的に参加しています。

様々な分野の相談対応には、日頃の勉強が欠かせません。

自治体だけでなく、ゆとりを持った相談が難しくなってきたように感じています。

今後は、より市民に寄り添った相談体制を取れるよう工夫していきたいと思います。

さらに広がる活躍の場

～中核市への移行～

◆保健所の設置

- ・精神障害者の地域移行
- ・地域や家族への支援
- ・精神科医、精神保健福祉士などとの連携

◆児童相談所の設置

- ・児童虐待防止対策の入口から出口まで
(予防、相談、強制介入など)

おわりに

◆市民は心理専門職を
必要としている

◆専門性の向上

◆関連専門職との連携